

<北海道熊研究会報>

第 11 号 2013 年 5 月 28 日

ご意見ご連絡は下記へどうぞ

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所内(Tel. 011-892-1057)

代表 門崎 允昭 e-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association

Website は「北海道野生動物研究所」と入力して下さい

[I] アルビノ(赤目白毛)の熊、健在な姿を確認

昨年(2012 年)7 月末から 10 月末に西興部村管内他で、目撃されたアルビノ(赤目白毛)の熊について、会報第 2 号と第 7 号で、その姿の写真とその個体について知り得た事について紹介した。その後この個体が元気であるか気がかりであったが、昨年この個体に付いての情報を下さった富山光太郎氏から、この個体の元気な姿が今年も確認された旨の連絡があった。それによると、5 月 26 日 14:45 ごろ、紋別市の菅原昇氏がこの個体を目撃し、氏が携帯電話で撮影した写真を送って下さったと言う。そこで、昨年の会報 7 号に掲載した写真(中内太・高田直紀両氏撮影) ①と、今回撮影された写真②をここに掲載する。今回の写真では、身体も大きくなり肩の盛り上がりが見え、逞しく成長したことが判る。肩の盛り上がりから、私は(門崎)はこの個体は雄であろうと見る。



①2012 年 7 月撮



②2013 年 5 月 26 日撮

近々、下記要望書を北海道知事宛に、提出予定で、準備を進めています。
資料文章は順次、皆さんにご紹介します。

要 望 書

北海道知事 殿

2013 年 月 日

要望団体

日本熊森協会 代表 森山 まり子

北海道熊研究会 代表 農学博士

門崎 允昭

申し入れ 北海道において、人と熊が共存するために下記事項
の実施を強く要望します。

要望事項

① 熊の駆除をやめること

(資料 1 を参照されたい)

② 熊に関する正しい知識を啓蒙すること

(資料 2 を参照されたい)

例えば、

(a) 人身事故の原因と対策について

(b) 熊が住宅地に出て来る原因について

(c) 熊の棲む北海道の自然との積極的な係わり方について

(d) 人と熊が共存すべき理由について

③ 野生動物に配慮した森林施業及び河川管理を行う事

(資料 3 を参照されたい)

④ 西興部町などで 2012 年に生息が確認されたアルビノ(赤目白毛)熊の保護に関する件

(資料 4 を参照されたい)

(以 上)